




# さくらネット

令和3年(2021年)11月30日

## 学びに向かう力の育成に向けて 課題と対策～学力調査の結果から～

【3年生国語】県平均よりやや低い	【3年生数学】県平均より低い
<p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>文章の要旨を理解し、それに対する自分の考えや意見を相手に伝わるように書くこと。</li><li>文章を読み合い、構成の工夫を考えること。</li><li>文章の構成を考え、事柄を効果的にわかりやすく伝えること。</li></ul> <p>◎対策</p> <ul style="list-style-type: none"><li>文章に小見出しをつけて要旨をまとめたり、まとめた要旨に対して自分の意見を述べたりするなどの活動を増やす。</li><li>条件付き作文の課題において、構成をあらかじめ示した上で書くような工夫をする。</li></ul>	<p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>無回答率が高い。</li><li>中央値の求め方。</li><li>平行四辺形になるための条件。</li><li>鋭角が等しいことを記号を用いて表すこと。</li><li>計算、関数などの基礎知識や技能の定着。</li><li>問題解決の方法を数学的に説明すること。</li></ul> <p>◎対策</p> <ul style="list-style-type: none"><li>授業や定期テストにおいて、数学的用語を適切に使うなどして、根拠をもとに説明する場面を増やす。</li><li>基礎定着に向けて、小テストや宿題の工夫をする。</li></ul>
【2年生国語】県平均より低い	【2年生数学】県平均より低い
<p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>与えられた条件に沿って構成を考え、作文をすること。</li><li>内容を読み取り、それに対して自分の考えを明確に伝えること。</li><li>漢字、語句、文法の知識。</li></ul> <p>◎対策</p> <ul style="list-style-type: none"><li>短作文の練習や、構成を決めて作文を書くなどの練習をする。</li><li>課題文に対して、自分の考えを必ず書くようにする。</li><li>漢字小テストや語句、文法の復習の時間をとり、繰り返し練習する。</li></ul>	<p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>作図や求積、資料の代表値を問う問題における、数学的用語の理解と使い方。</li><li>資料を読み取り、根拠を示して説明すること。</li><li>文字を使って数量を表すこと。</li></ul> <p>◎対策</p> <ul style="list-style-type: none"><li>計算途中の式や考えを、根拠を示しながら説明する練習をする。</li><li>定期テスト等で途中の解法を答える問題を出題する。</li><li>復習問題や小テストを行い、数学的用語の使い方や、文字を使った数量の表し方などについて繰り返し練習する。</li></ul>

<b>【2年生英語】県平均より低い</b>	
<p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長文を読み取ろうとする力や、主旨を把握しようとする力。</li> <li>・語彙力や語形、語法の基本的な知識。</li> <li>・場面や情報に応じて書く英作文</li> <li>・対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答えること。</li> </ul> <p>◎対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書以外の長文問題に触れる機会を増やす。</li> <li>・単語テストや基礎基本を問う練習問題を継続的に行い、既出の語句や、その使い方を身に付けられるようにする。</li> <li>・条件に基づいた英作文ができるような宿題で作文の練習に取り組む。</li> </ul>	<p>国語・数学は全学年で実施、英語は2年生のみで実施された学力調査の結果から、各教科の課題と対策をまとめました。学年によって、やや状況は異なりますが、全教科において共通している課題は、「問題を読み解き、根拠を示して自分の考えを説明すること」であると言えます。</p> <p>問題を読み解き、自分の考えを説明するためには、各教科の基本的な知識（語句、文法、用語、公式等）を確実に身に付けることが絶対条件です。その上で、思考・表現するための言葉の力を磨く必要があります。</p> 
<b>【1年生国語】県平均と同程度</b>	
<p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修飾語やことわざの理解。</li> <li>・説明文や文学作品の内容を読み取ること。</li> <li>・漢字を書くことや、文法、語句に関する知識。</li> <li>・叙述をもとに内容を理解する力。</li> <li>・文章理解に基づいて、自分の考えを書く力。</li> </ul> <p>◎対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字ノート提出 100%を目指して取り組む。</li> <li>・語彙力、読解力を高めるために、読書活動を推進する。</li> <li>・单元ごとに条件付きの作文を課題に出し、作文の書き方を身に付けられるようにする。</li> </ul>	<p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面図形の基本的な知識の理解。</li> <li>・説明をするための根拠を示すこと。</li> <li>・グラフや文章、図から読み取った内容を整理し、目的に応じて処理する力。</li> </ul> <p>◎対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士で答えを求める方法や、根拠を説明する場面をつくる。</li> <li>・間違えた問題について、なぜ間違えたのかを分析する時間を確保し理解を深める。</li> <li>・定期テストでは、途中の解法を答える問題を出題する。分析したものを確認し、振り返り学習ができる機会の設定をする。</li> </ul>

言葉の力を磨くことや、学習の成果を自分で評価する力を身に付けることを目標として、本校では、「振り返り」の充実に重点を置いた授業改善を進めています。

「振り返り」とは、授業で学んだことや自分の理解度、理解を確実にするために必要な家庭学習などを、一人ひとりが自分で考えること（考える時間）のことで、「振り返りシート」や「振り返りノート」を活用して全ての教科で取り組んでいます。

同じ授業を受けても、捉え方や理解度はそれぞれ異なります。自分の学びを振り返ることで自分の課題を見つけ、自分の学習を調整しながら学ぼうとする態度。これが新教育課程における学習評価の三つの観点のうちの一つである「主体的に学習に取り組む態度」です。（他の二つの観点は「知識・技能」と「思考・判断・表現」）

「主体的に学習に取り組む態度」を育むことが、一人ひとりの確かな学力の向上につながると考えています。そのために取り組んでいる「振り返り」の充実が成果を生むことができるよう、実践を重ねていきたいと思っております。

